

各 位

平成 27 年 4 月 10 日

会 社 名 株式会社 ブロッコリー 代表者名 代表取締役社長 森田 知治 (JASDAQ コード 2 7 0 6) 問合せ先 取締役執行役員管理本部長 渡邉 朋浩 (TEL 03 - 6892 - 2077)

内部留保する BCP (ビジネス・コンティニュイティ・プラン) 準備資金についてのお知らせ

当社は、主に東京直下型地震を想定する大規模災害に備えた重要な「企業の危機管理(リスクマネジメント)」につきまして、平成27年4月10日開催の取締役会にて、下記のとおり、内部留保計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 災害発生後の主要な想定事項

当社は、下記5点を災害後の主要事項と想定し、BCPを策定しております。

- ①1 年目は事業再開不能と想定し、社員は、地域・地元のインフラ復興に協力いたします。
- ②2年目に事業を再開し、6年目にマーケットが完全復活することを想定しております。
- ③発生時点での売掛金回収率は最悪の10%程度とし、同時点での買掛金は100%支払うと想定しております。
- ④従業員の月給は事業停止後も 100%保障し、復興に合わせて昇給・賞与を復活してまいります。 役員報酬は 20%カットにてスタートいたします。
- ⑤本社屋ビルは最悪の全壊・再建築を想定し、再建築費用の3分の1は借入予定です。

2. 年度別必要金額

上記「1. 災害発生後の主要な想定事項」を踏まえまして、経過年度別に必要な運転資金額を以下のとおり算出しております。

(金額単位:百万円)

年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	累計
状況	事業停止	事業再開	通常営業			
		売上総利益0	営業利益 0	営業利益率 10%	営業利益率 20%	
必要キャッシュ	1, 700	2, 100	600	600	0	5, 000

3. 項目別必要金額

上記「2.年度別必要金額」の主な内訳は下記のとおりとなります。

項目		金額(単位:百万円)
売掛回収・買掛支払の差額(▲)	300	
販管費		1,500
事業再開時・仕入原価等		1,500
本社屋・再建費用等 ※600 百万円を別途借入		1,200
賃貸家賃		100
予備費(5年分)		400
	計	5,000

4. 今後の内部留保・積上計画

貸借対照表上の"現金及び預金"が 5,000 百万円に達するまで、内部留保を毎期 250 百万円以上、実質的な税引後当期純利益に対する構成比として 65%以上をキャッシュとして積み上げる計画であります。

以上、当社が策定いたしました BCP の概要のお知らせとなります。

なお、本件の業績に与える影響は軽微であるため、平成28年2月期通期業績予想に変更はありません。

以上